

令和4年3月10日

報道各位

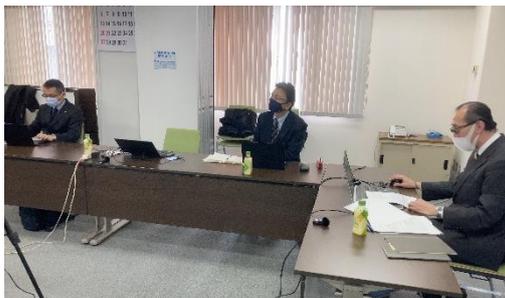
(一社) 日本船用工業会
(一財) 次世代環境船舶開発センター

(一社) 日本船用工業会 / (一財) 次世代環境船舶開発センター共催
第2回「GHG ゼロエミッション新燃料ワークショップ」を開催

(一社) 日本船用工業会 (略称 JSMEA) と (一財) 次世代環境船舶開発センター (Planning and Design Center for Greener Ships、略称 GSC) は、3月9日、第2回「GHG ゼロエミッション新燃料ワークショップ」を開催しました※。

冒頭、国土交通省 海事局 船舶産業課 松本舟艇室長が挨拶し、「今までと違う新たな燃料を用いる時代においてはエンジンやプラント機器が主役となる。この新しいビジネスチャンスの種を是非ものにして頂きたい」旨述べました。今回はアンモニア燃料に焦点を当て、GSC より「アンモニアの基本的特性と船上利用における潜在的リスクについて」、続いて三井 E&S マシナリーより「次世代燃料への取組みについて」アンモニア焚エンジン開発の状況を紹介、さらに GSC より「アンモニア燃料船の技術課題 (船用機器に期待すること)」と3件の講演を実施しました。108 の会社・団体から合計434 名が参加し、アンモニア燃料船実現に必要な機器仕様等について活発な議論が交わされました。

第3回においては引き続きアンモニア燃料をテーマとして、関連ガイドラインやサプライチェーンなどについて議論する予定です。第4回以降は、2050年ネットゼロに向けて、参加者の希望を踏まえつつ、水素や合成燃料などについて取り上げていくこととしています。



第2回ワークショップの様子 (左: 事務局、右: 松本室長)

※ 本ワークショップは、船舶のゼロエミッション化及び新燃料の船上利用に関する課題についての造・舶両業界における理解増進、並びに新燃料対応の補機、管系統、計装など様々な船用機器・システムの技術開発の促進を図ることを目的としています。第1回は本年1月28日に開催され、GHG 排出削減に向けた規制動向やゼロ炭素燃料の展望などについて議論を行いました。

<問合せ先>

一般社団法人 日本船用工業会

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 1-13-3 虎ノ門東洋共同ビル 5F

TEL : 03-3502-2041

Email : mitamura@jsmea.or.jp

一般財団法人 次世代環境船舶開発センター

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 7F

TEL : 03-6256-8941

Email : rep@pdcgs.or.jp